

# 1章 調査結果

## 1. アンケート調査結果概要

### 回収状況

アンケートの配布数は、8,134 件、回収数は 1,780 件、21.9%であった。回収したアンケートの内、居住地の分かる 1,517 件を有効回答として以下の解析を行った。回収率の高かった地区は千葉市（高根町）の 29.4%で、低かった地区は市原市（五井）の 11.9%であり、回収率に 3 倍近くの差があった。

表 地区別アンケートの配布数と回収率

地域	No.	地区	回答者数	回収率	配布数			備考
					戸建住宅	集合住宅	合計	
中央	1	千葉市（中央区大森町）	97	18.5%	260	265	525	人口集中地区
	2	千葉市（高根町）	153	29.4%	520	0	520	非人口集中地区
	3	習志野市（津田沼）	99	19.8%	250	250	500	人口集中地区
	4	市原市（五井）	69	11.9%	380	200	580	人口集中地区
	5	市原市（上総牛久）	60	14.3%	400	20	420	非人口集中地区
東	6	銚子市（内浜町）	82	16.1%	480	30	510	人口集中地区
	7	銚子市（船木町）	78	15.6%	500	0	500	非人口集中地区
	8	成田市（加良部）	116	23.2%	150	350	500	人口集中地区
南	9	館山市（那古）	108	21.6%	440	60	500	非人口集中地区
	10	木更津市（大和）	92	17.9%	480	35	515	人口集中地区
	11	木更津市（茅野）	114	22.4%	510	0	510	非人口集中地区
西	12	市川市（大洲）	97	19.2%	240	264	504	人口集中地区
	13	船橋市（海神、行田）	78	15.6%	220	280	500	人口集中地区
	14	柏市（大室）	84	15.3%	550	0	550	非人口集中地区
	15	柏市（明原町）	78	15.6%	180	320	500	人口集中地区
	16	流山市（鱈ヶ崎）	112	22.4%	180	320	500	人口集中地区
小計			1,517	18.7%				有効回答数
無効			263	3.2%				居住地不明等
計			1,780	21.9%	5740	2,394	8,134	

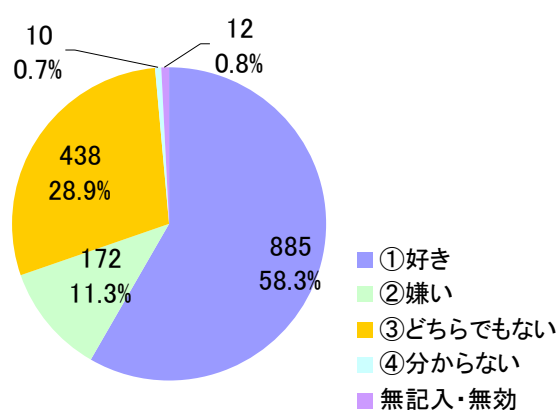
## 2. 飼育動物の実態調査結果

### 2.1 犬及び猫に関する一般的な関心

#### (1) あなたは犬が好きですか？

好きと回答した人は半数以上の60%近い。嫌いと回答した人は1割を超える程度である。犬はあまり嫌われていない動物といえる。

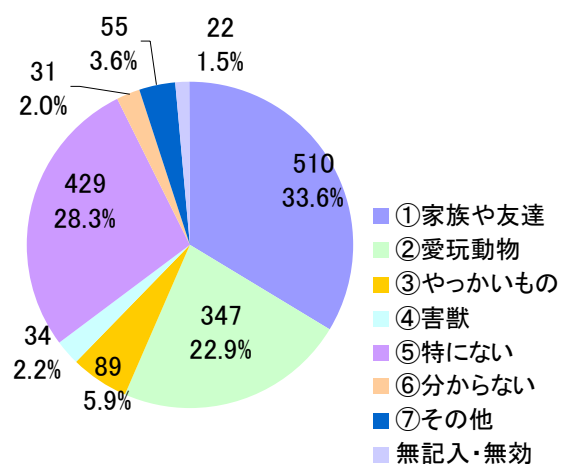
犬が好きか(全体)(単位:件)



#### (2) あなたにとって犬はどんな存在ですか？

家族や愛玩動物と考えている人の比率が高い。害獣、やっかいものと考えている人は1割に満たない。

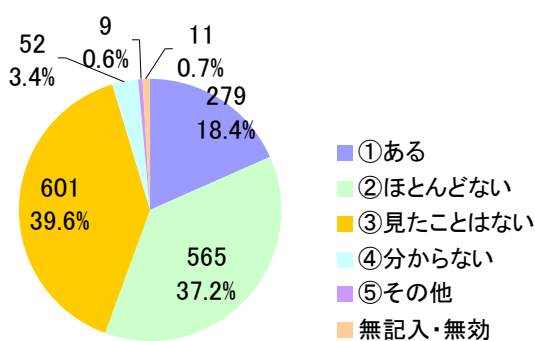
犬はどんな存在か(単位:件)



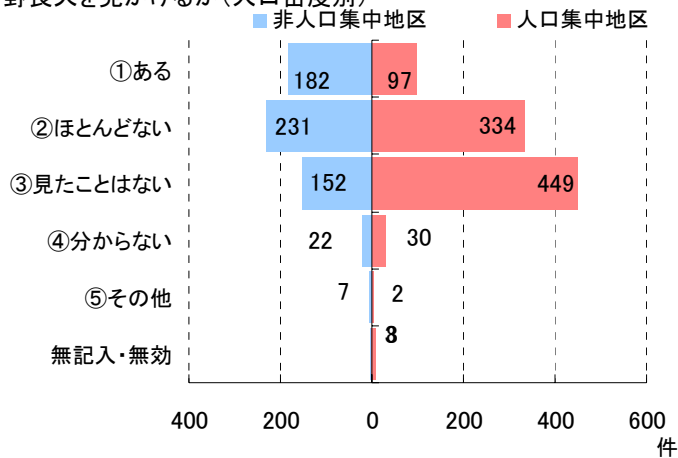
### (3) あなたの家のまわりで、最近、野良犬を見かけたことがありますか？

野良犬を見たことのある人の比率は 20%未満である。人口集中地区では約 10%でさらに低くなり、反対に見たことない人は約 48%と極端に多い。また居住地別には西部で少なく、次いで南部地域が低い。中央、東地域で野良犬を見たことのある人が多くなっている。

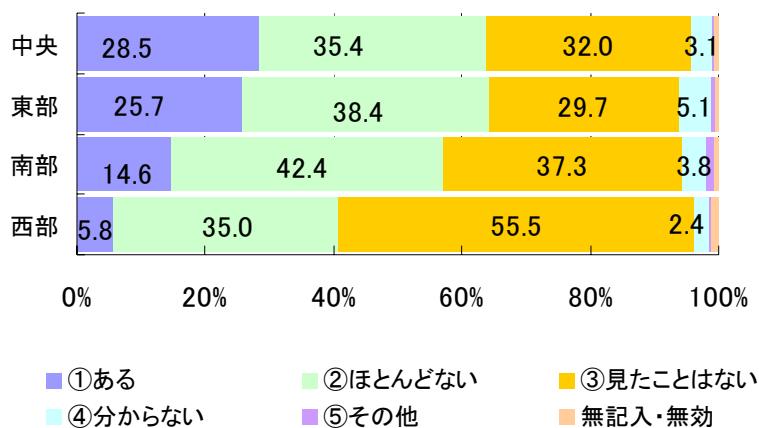
野良犬を見かけるか(全体)(単位:件)



野良犬を見かけるか(人口密度別)



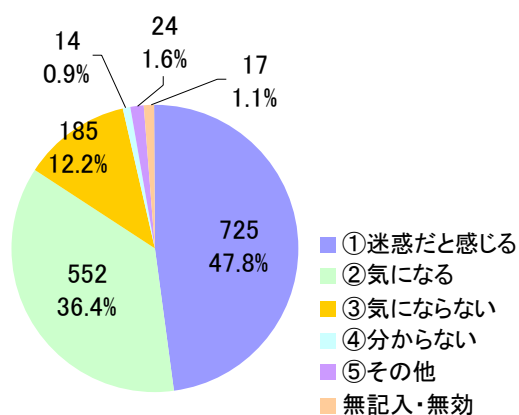
居住地別「野良犬を見たか(Q3)」



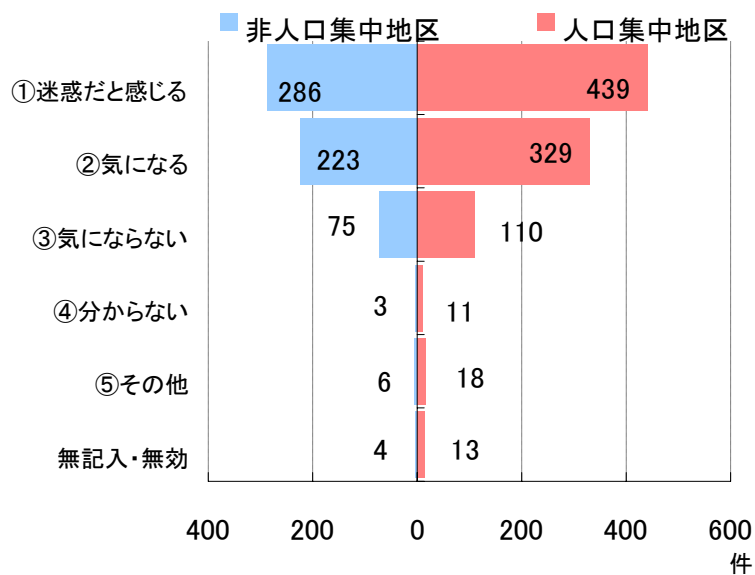
#### (4) あなたは犬や猫の鳴き声、糞尿についてどのように感じていますか？

迷惑と感じる人の比率が最も高い。次いで気になると回答した人の比率が高い。人口密度による違いは明確ではない。

犬の鳴き声、糞尿(単位:件)



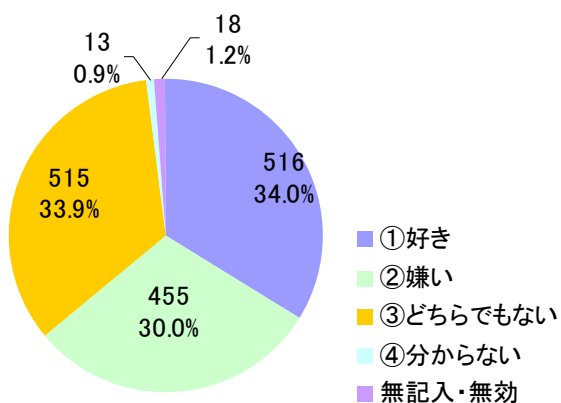
犬の鳴き声、糞尿(人口密度別)



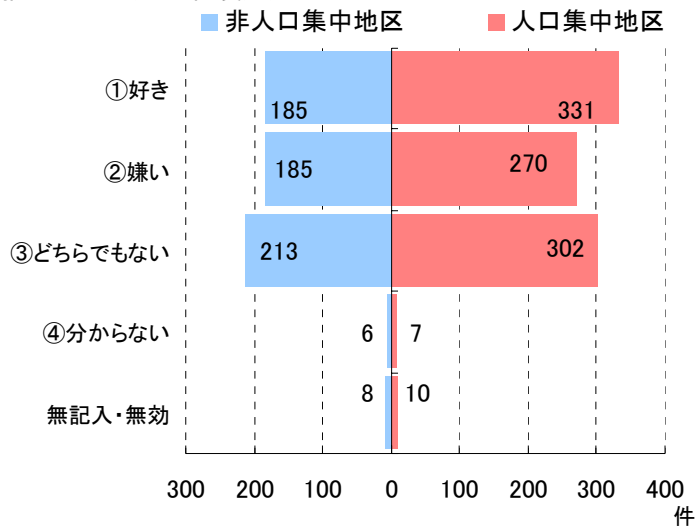
### (5) あなたは猫が好きですか？

犬と異なり猫に対する好き嫌いは3分している。好きと回答した人の比率とほぼ同数程度の人が嫌いと回答している。人口密度別には、人口集中地区で好きと回答した人の比率が高い。

猫が好きか(全体)(単位:件)



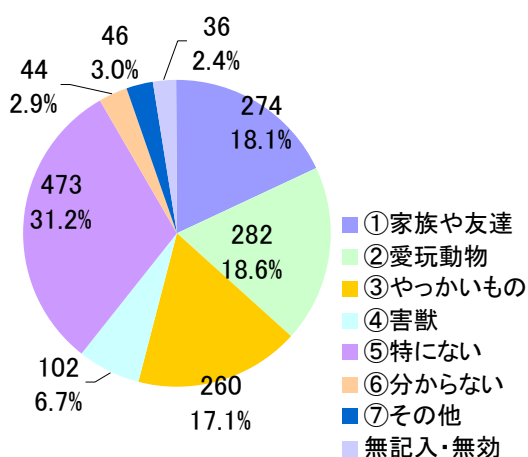
猫が好きか(人口密度別)



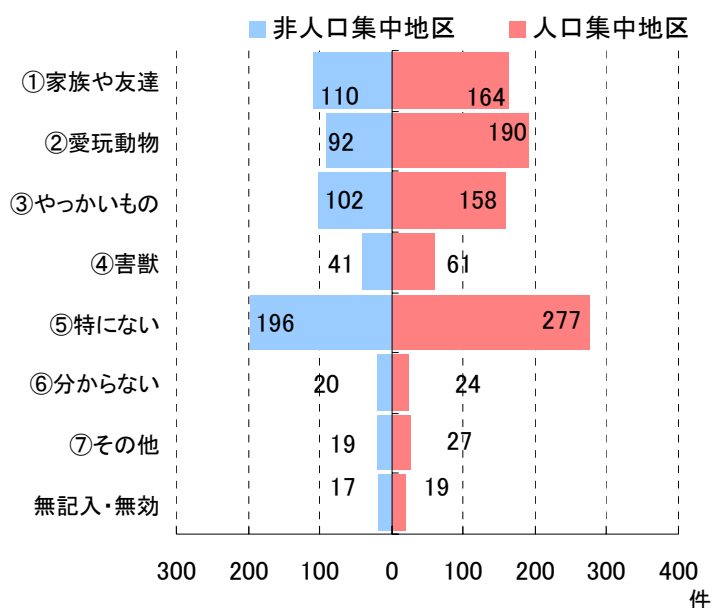
## (6) あなたにとって猫はどんな存在ですか？

猫の存在に対しては犬に比較し意見が大きく分かれる。犬では半数以上の人が高感を持って家族や友達、愛玩動物と答えているのに対して、猫では4割未満にとどまっている。一方でやっかいもの、害獣と答えている人は、20%を越え、設問2で犬に対して同様の回答をしている人の3倍程度の比率になる。人口密度別には、人口集中地区では家族や友達というとらえ方より愛玩動物として見ている人の比率が高くなる。

猫はどんな存在か(全体)(単位:件)



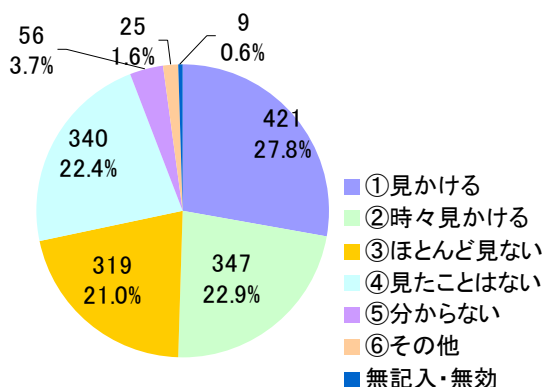
猫はどんな存在か(人口密度別)



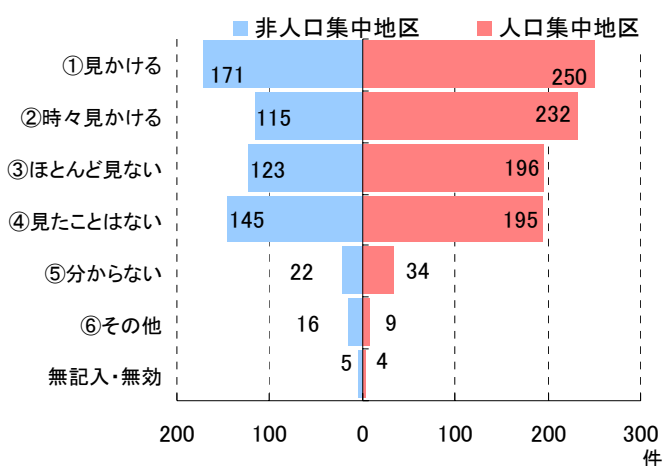
### (7) あなたの家のまわりで野良猫への餌やりを見かけますか？

半数以上の人が見かけている。人口密度別に見ると、人口集中地区での餌やりが多く見られる。餌やりによる野良猫の存在は人間生活に依存しているためと思われる。地区別では東部地域でやや多い。

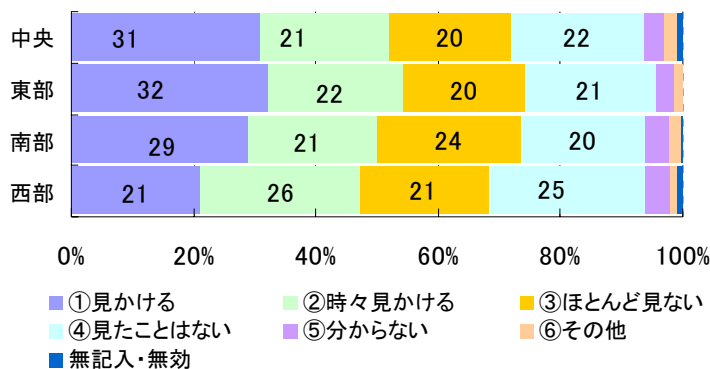
野良猫への餌やり(全体)(単位:件)



野良猫への餌やり(人口密度別)



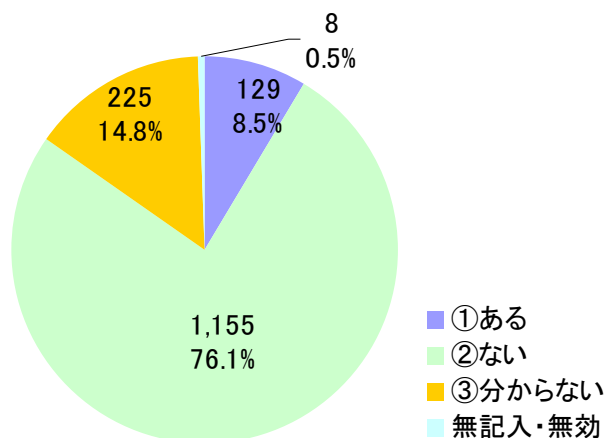
居住地区別「野良猫への餌やりを見たか(Q7)」



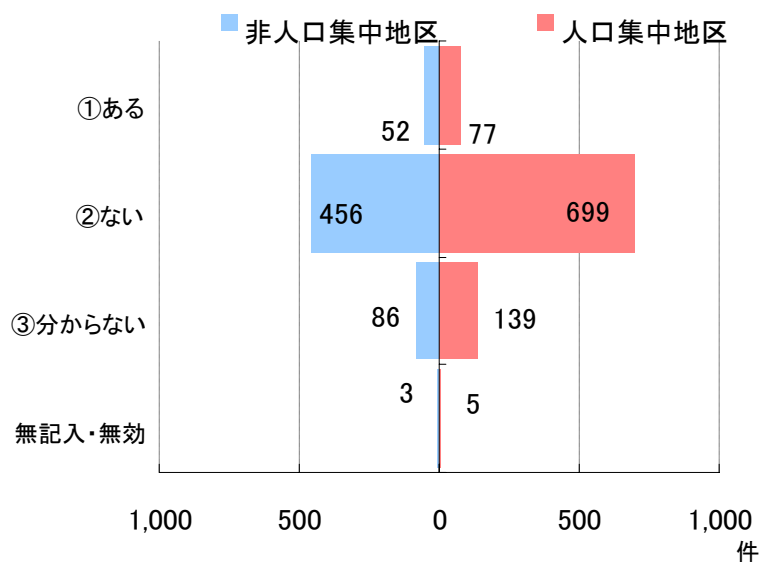
### (8) あなたは動物アレルギーがありますか？

あると回答した人の比率は8.5%で10%未満である。人口密度による違いはほとんど見られない。アレルギーに対して分からないと回答した人は15%程度である。

動物アレルギー(全体)(単位:件)



動物アレルギー(人口密度別)

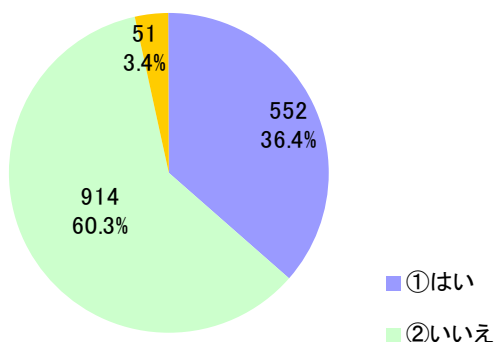




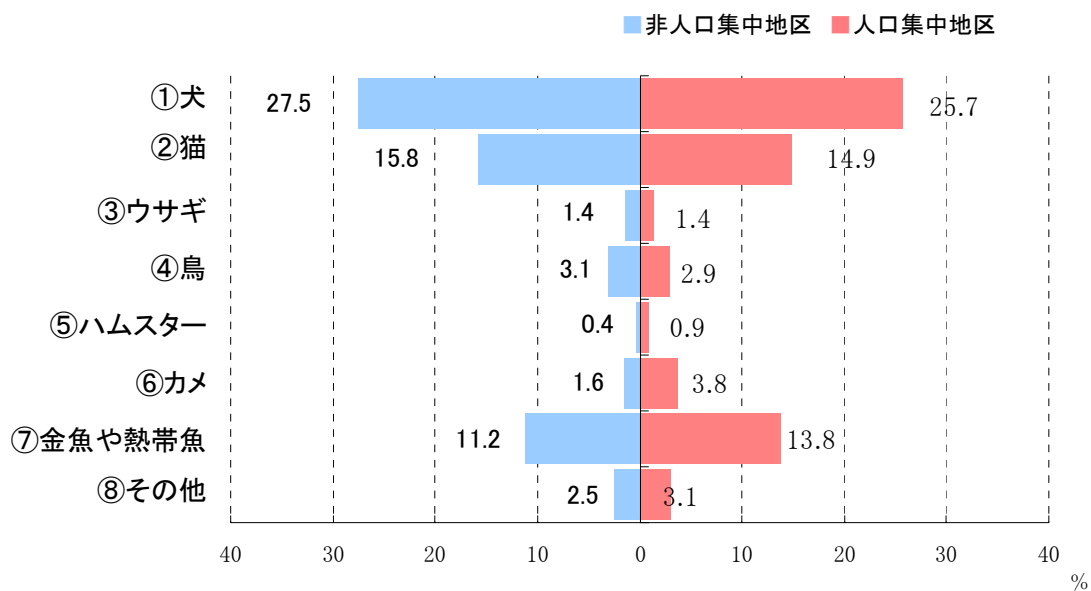
**(9) あなたのお住まいでは、ペットを飼っていますか？また、飼育されているペットは何ですか？**

ペットを飼っている世帯の比率は36.4%と約3分の1の世帯である。犬、猫、金魚・熱帯魚の比率が高い。ペットを飼っている世帯では複数の種類を飼っているところも多い。

ペットを飼っているか(全体)  
(単位:件)



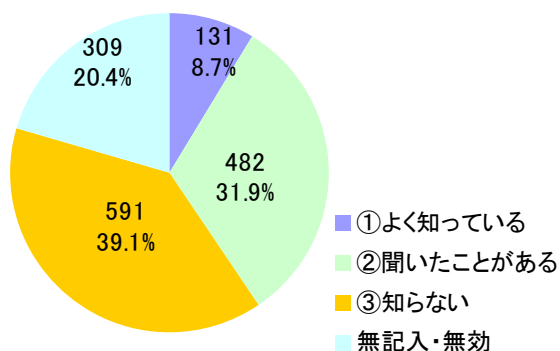
ペットの種類(世帯数比)



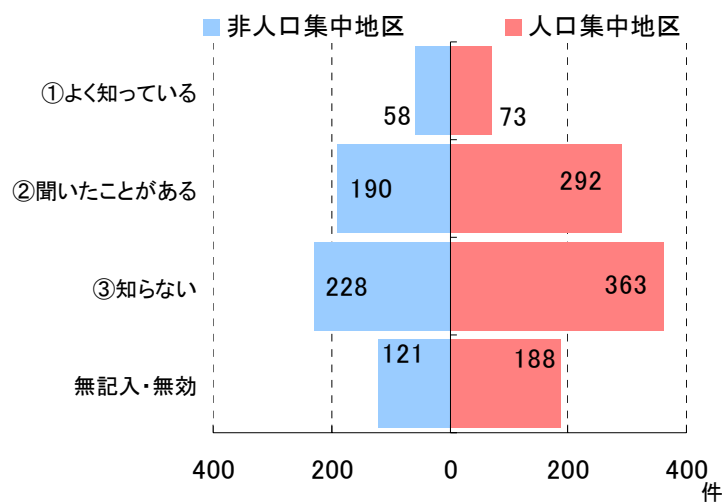
**(10) あなたは、犬や猫を個体ごとに識別するマイクロチップ（電子識別チップ）があることをご存知ですか？**

個体識別のためのマイクロチップの存在をよく知っていると回答した人の比率は8.7%で、聞いたことがある人を含め40.6%である。まだ十分に認知されている状況ではない。人口密度別の違いは明確ではない。

マイクロチップの存在(全体)  
(単位:件)



マイクロチップの存在(人口密度別)



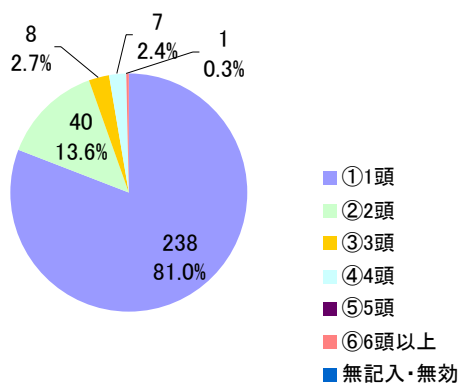
## 2.2 犬の飼養実態調査結果

以下は犬を飼育している方のアンケート集計解析結果である。

### (1) 飼っている犬は何頭ですか？

犬の飼育頭数は、1頭飼いが最も多く、多頭飼いは20%未満である。

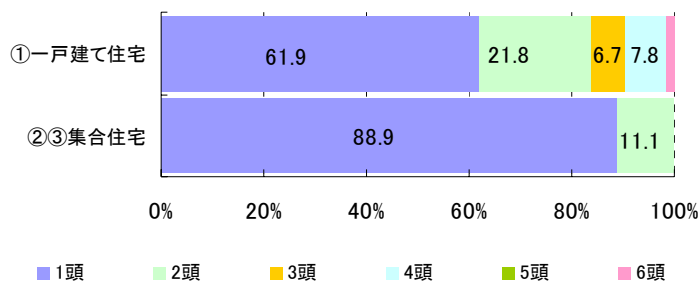
犬の飼育頭数(全体)(単位:世帯)



### (犬の飼育と住居形態)

多頭飼いと住居形態の関係を見ると、一戸建では40%近い世帯が多頭飼いであるのに対し集合住宅では多頭飼いは10%をやや上回る程度である。

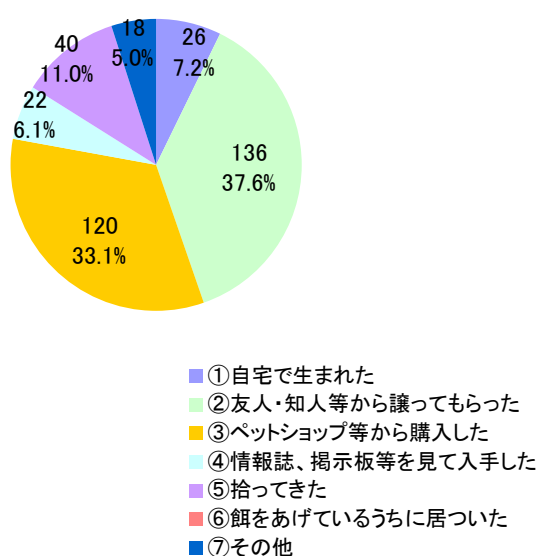
住居形態別「飼っている犬は何頭か(Q12)」



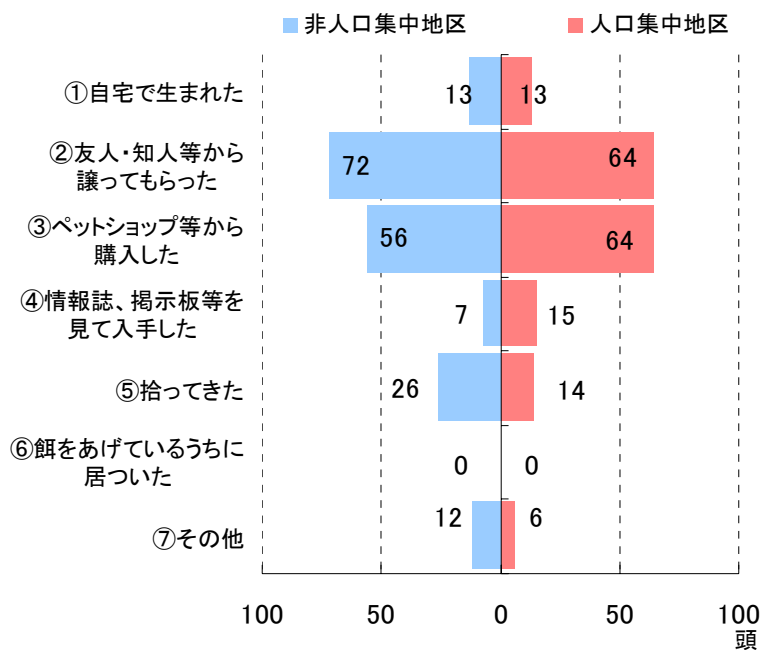
## (2) 現在飼っている犬は、どのような方法で入手しましたか？

ペットショップより購入した世帯の比率は3分の1であり、人口集中地区ではより高くなる。今後は拾ってきて育てる比率は減少すると思われるが、ペットショップから購入する比率は相対的に高くなると思定される。猫に比べペットショップ経由の入手が多い。非人口集中地区では、拾ってきたという回答が人口集中地区の約2倍である。

犬の入手経路(頭数)(全体)  
(単位:頭)



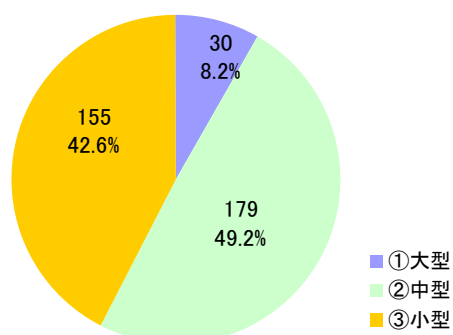
犬の入手経路(頭数)(人口密度別)



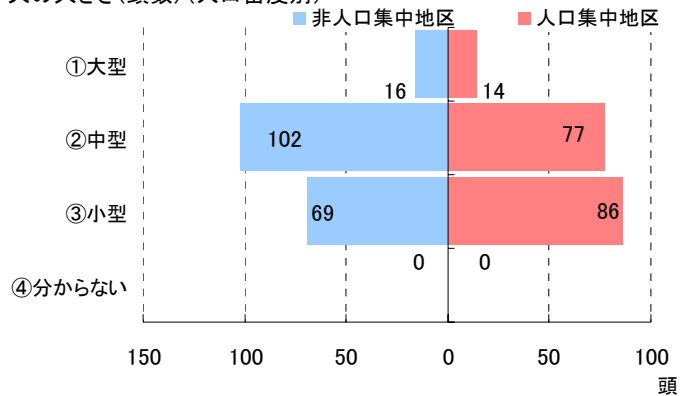
**(3) 犬の「大きさ」について教えてください。成犬になった時の大きさを区分すると、どの大きさになりますか？**

犬の大きさ別に見ると中型犬が約 50%と 2 分の 1 を占めている。人口集中地区では小型犬と中型犬の順位が逆転する。集合住宅は小型犬の比率が高くなり、80%程度が小型犬である。

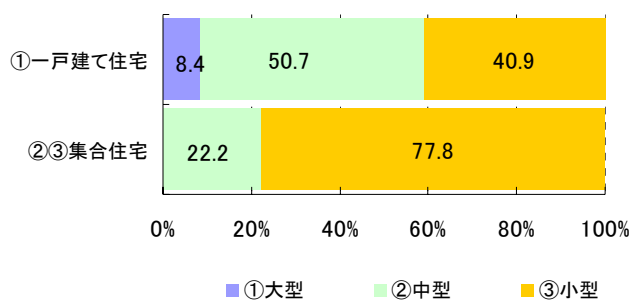
犬の大きさ(頭数)(全体)  
(単位:頭)



犬の大きさ(頭数)(人口密度別)



住居形態別「犬の大きさ(Q14)」

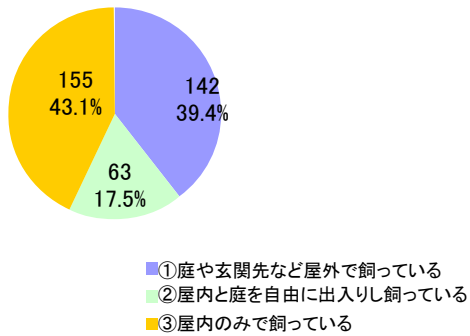


#### (4) あなたは、どのように犬を飼っていますか？

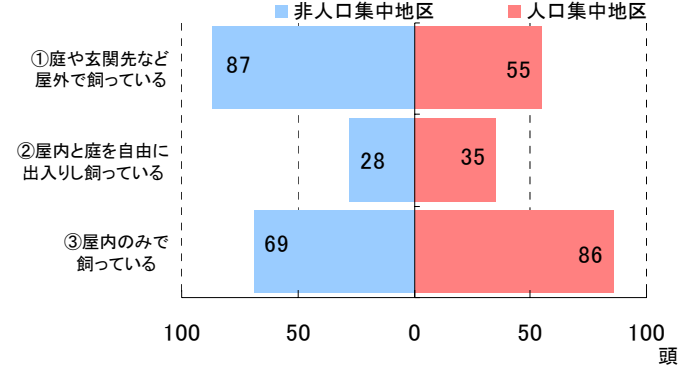
40%以上の世帯で屋内飼育を行っている。屋外のみという世帯も3分の1以上ある。人口集中地区と非人口集中地区では関係が逆転し、人口集中地区では屋内飼育は半数程度になる。

地域別にも違いが見られ、西部地区では64.9%が屋内飼育である。東部では15.1%と少ない。住居形態別には集合住宅ではほとんど屋内飼育である。

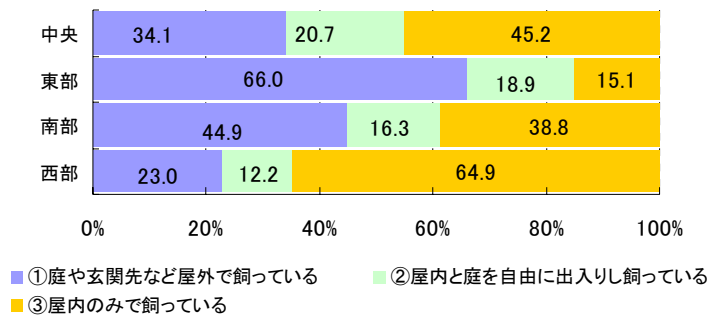
犬の飼育方法(頭数)(全体)(単位:頭)



犬の飼育方法(頭数)(人口密度別)



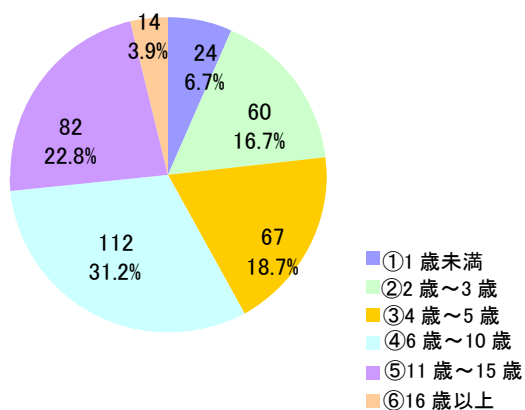
居住地区別「犬の飼い方(Q15)」



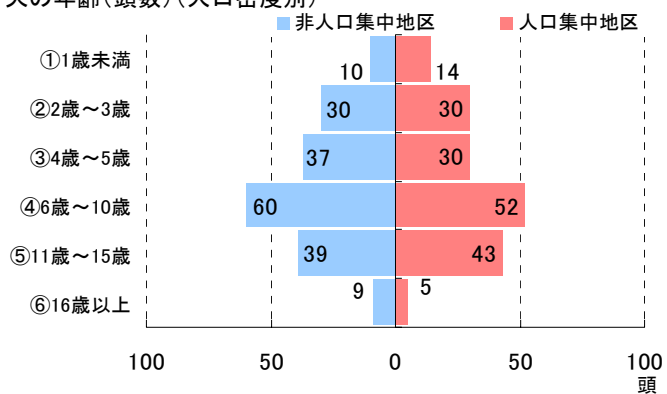
### (5) あなたのお飼いの犬は何歳ですか？

犬の年齢は、6歳以上が半数以上を占める。3歳未満は25%に満たない。人口密度による明確な違いは見られなかった。

犬の年齢(頭数)(全体)(単位:頭)



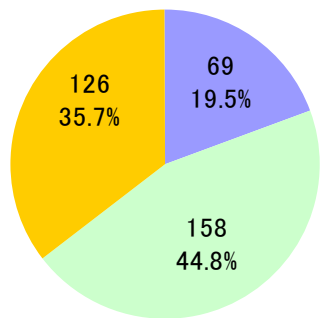
犬の年齢(頭数)(人口密度別)



**(6) 犬の「トイレ」のしつけについて教えてください。**

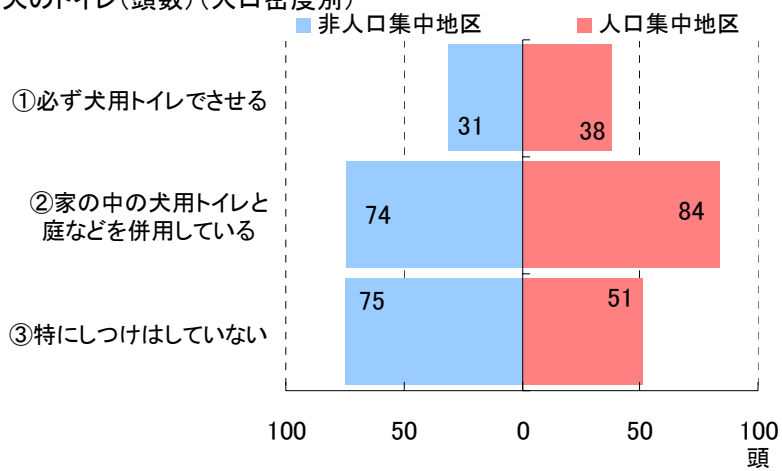
トイレのしつけは、家の中の犬用トイレと庭などの併用も含めると、64.3%程度行なわれている。人口密度とトイレの関係は非人口集中地区でやや低くなっている。

犬のトイレ(頭数)(全体)(単位:頭)



- ①必ず犬用トイレでさせる
- ②家の中の犬用トイレと庭などを併用している
- ③特にしつけはしていない

犬のトイレ(頭数)(人口密度別)

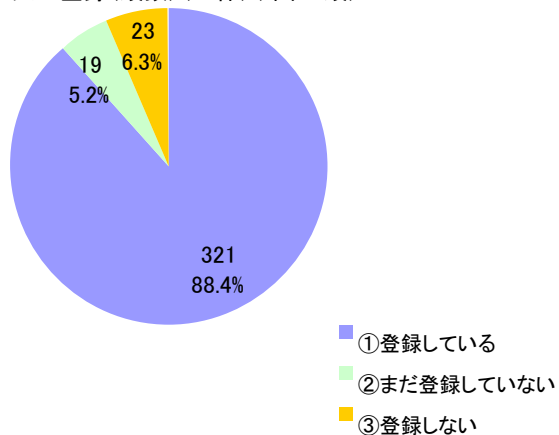




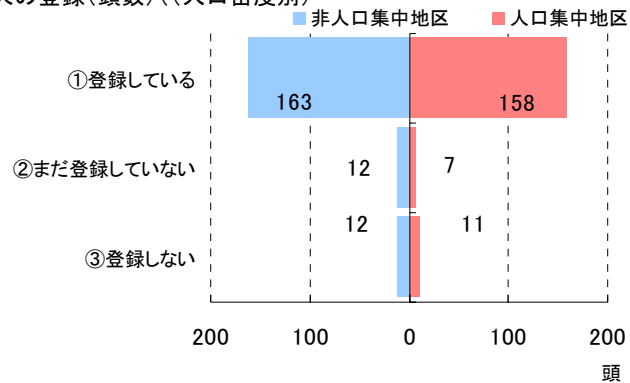
**(7) あなたが飼っている犬は、お住まいの市町村への登録をしていますか？**

市町村への登録は 88.4%の犬が登録されている。登録しないと回答した人の比率は 6.3%である。地域別には大差はないが、東部と西部は 95%近くが登録されているが、中央と南部は 80%台である。

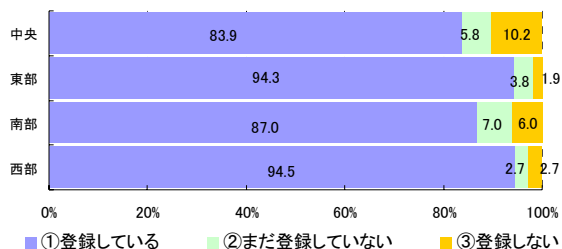
犬の登録(頭数)(全体)(単位:頭)



犬の登録(頭数)((人口密度別)



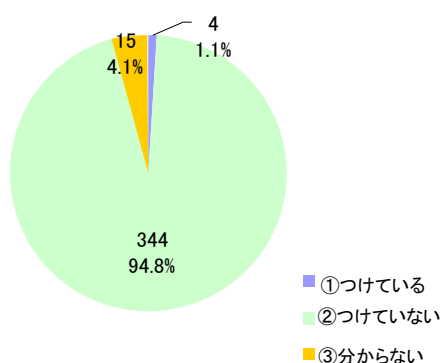
居住地区別「登録しているか(Q18)」



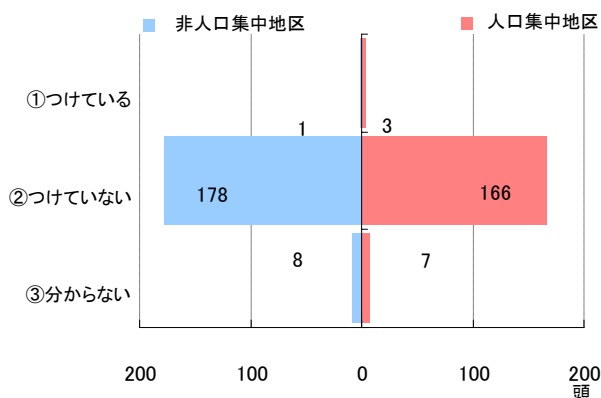
**(8) 飼っている犬に、マイクロチップ（個体識別のための電子識別チップ）をつけていますか？**

マイクロチップの装着は1.1%であり、94.8%の犬は装着していない。人口密度との関係では違いが見られない。マイクロチップの認知については、ペットを飼育している方が認知度が高い。また、飼っていない人の方が、知らない、無記入・無効が多いことからマイクロチップへの関心が薄いことが分かる。

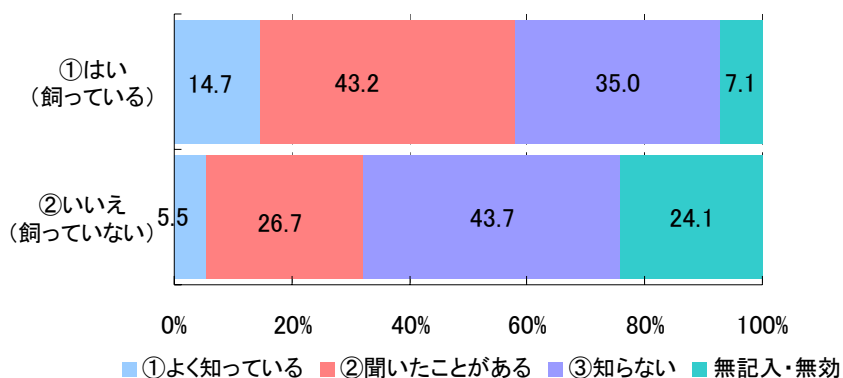
犬のマイクロチップ装着(頭数)(全体)(単位:頭)



犬のマイクロチップ装着(頭数)(人口密度別)



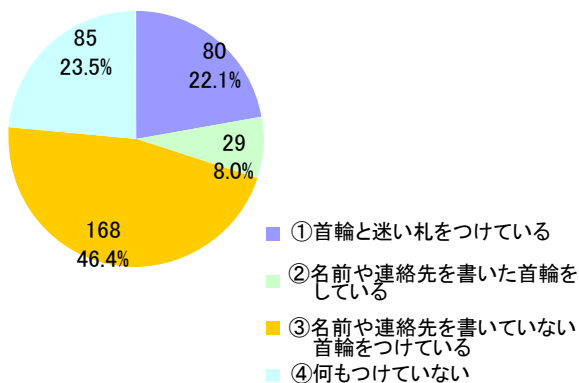
ペット飼育有無別「マイクロチップを知っているか(Q11)」



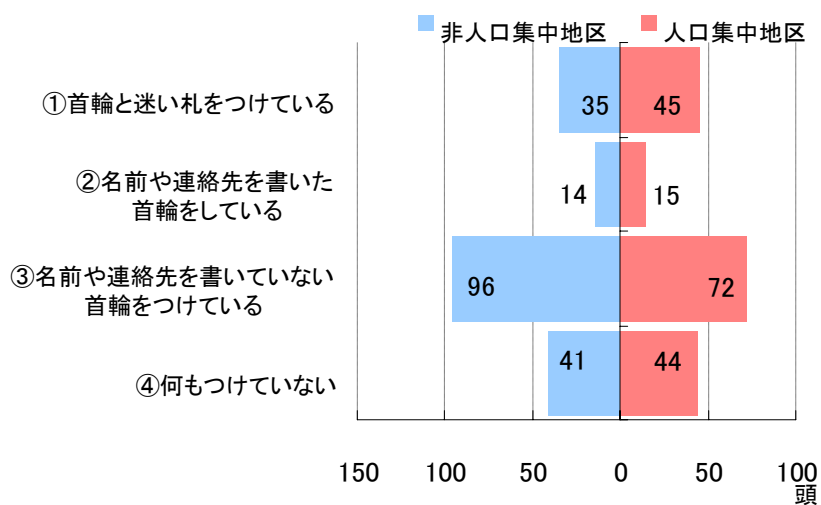
**(9) 飼っている犬に、首輪や迷い札などをつけていますか？**

首輪をつけていない犬は 23.5%。名前や連絡先などが書いてある首輪、あるいは何らかの首輪をつけている犬は 76.5%である。人口密度別には非人口集中地区で名前や連絡先を書いていない首輪をつけている比率が高い。

犬の首輪(頭数)(全体)(単位:頭)



犬の首輪(頭数)(人口密度別)



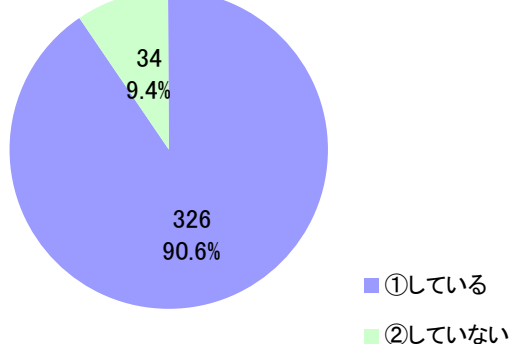
**(10) 飼っている犬に、毎年、狂犬病予防注射をしていますか？**

90%以上が狂犬病の予防接種を受けている。人口密度別、住居地別の違いは見られない。

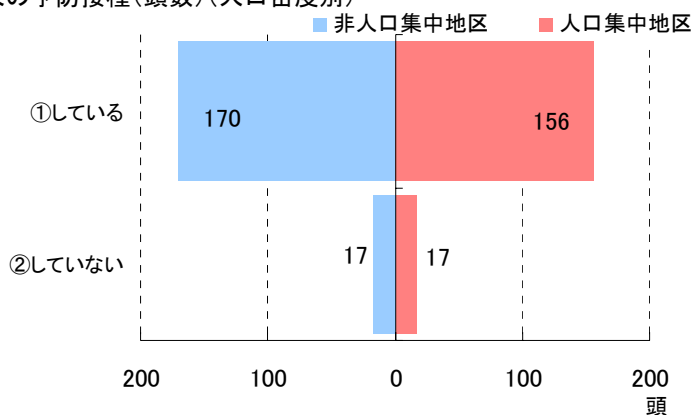
(参考) 千葉県における狂犬病予防事業実績  
(平成17年度)

- 注射済票交付数 222,240 頭
- 登録原簿保有数 315,203 頭
- 注射実施率 70.5%

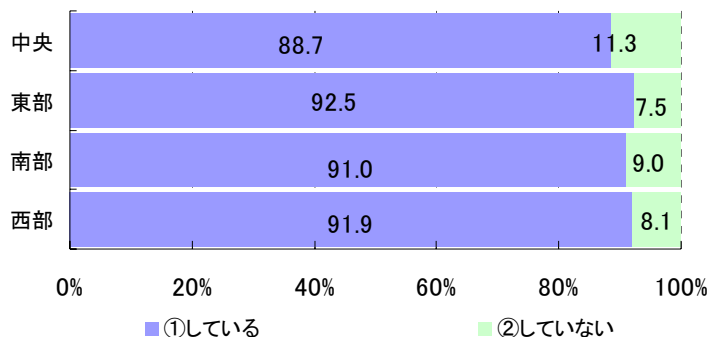
犬の予防接種(頭数)(全体)  
(単位:頭)



犬の予防接種(頭数)(人口密度別)



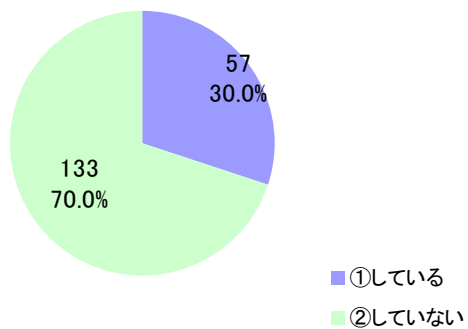
居住地区別「狂犬病予防接種をしているか(Q21)」



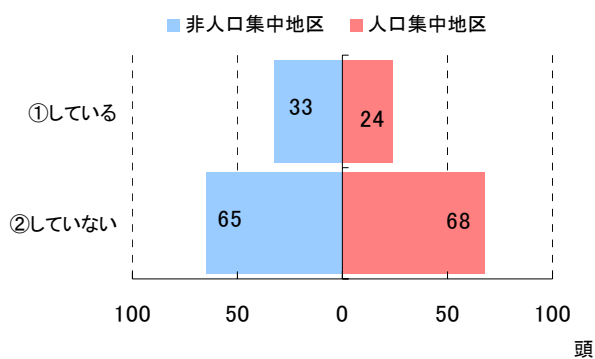
### (11) 飼っている犬に不妊去勢手術をしていますか？

去勢手術をしているオス犬は全体の3割であった。集合住宅は、ほとんどが屋内飼育のため去勢手術をしている犬はいなかった。しかし、回答された標本数が少ないため正確な推定は難しい。

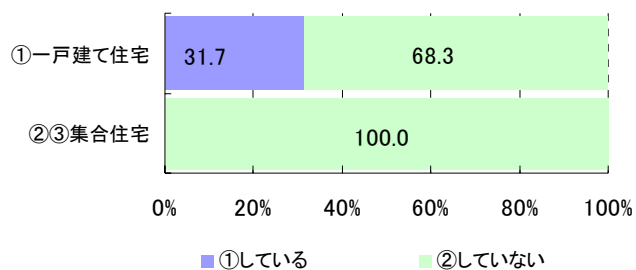
犬のオス去勢(頭数)(全体)  
(単位:頭)



犬のオス去勢(頭数)(人口密度別)

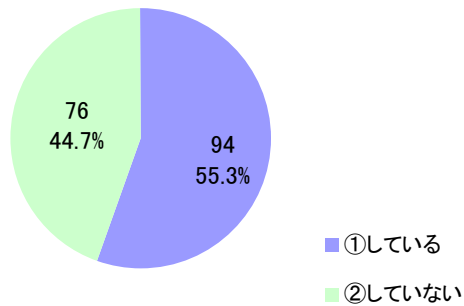


住居形態別「去勢手術をしているか(Q22-1)」

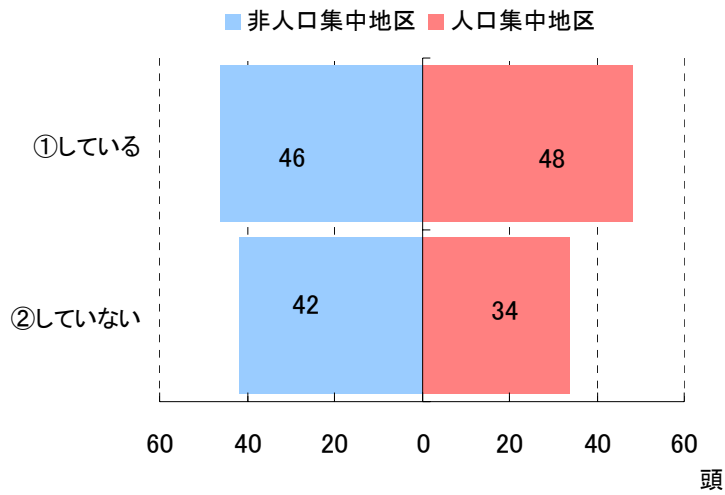


オスに比べてメスが不妊手術をしている率は55.3%と高い。住居形態による違いは見られないが、人口密度別による違いは明瞭で、人口集中地区の方が不妊手術をしている比率が高い。

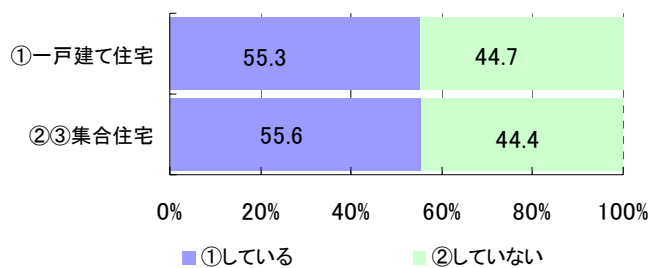
犬のメス不妊(頭数)(全体)(単位:頭)



犬のメス不妊(頭数)(人口密度別)

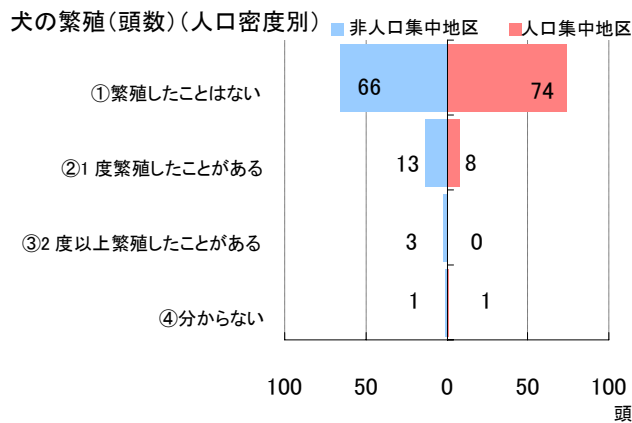
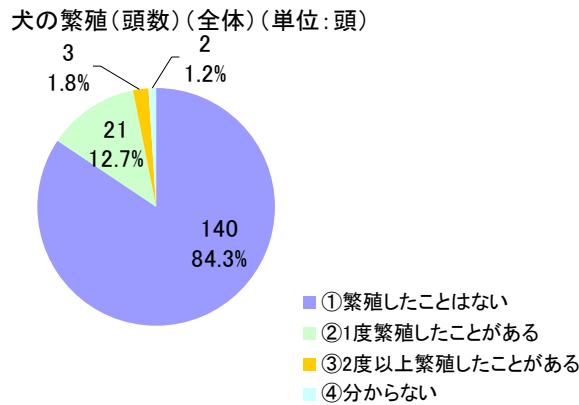


住居形態別「不妊手術をしているか(Q22-2)」

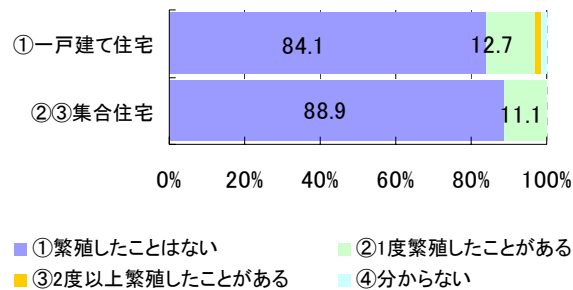


**(12) メス犬をお飼いの方に、繁殖の有無についておうかがいします。**

犬の繁殖はほとんど行われておらず、80%以上が繁殖をしたことがないと回答している。12.7%が1度繁殖したことがあり、人口密度別、住居形態別による違いはほとんど見られない。2度以上の繁殖は1.8%となっている。



**住居形態別「繁殖の有無(Q23)」**



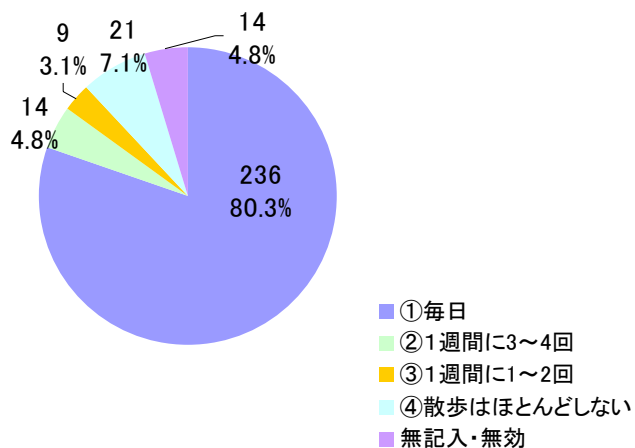
(13) 犬の散歩についてお聞きします。

■散歩はどのくらいしていますか？

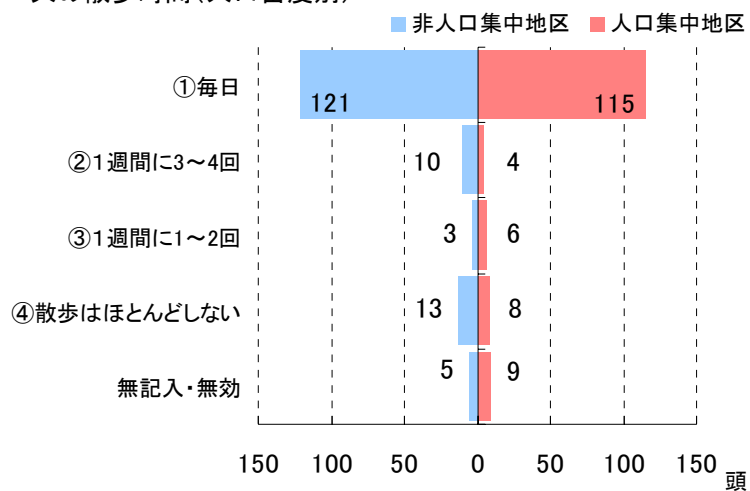
80.3%が毎日散歩している。散歩をほとんどしないと回答したのは7.1%。

人口密度による違いは見られなかった。

犬の散歩時間(全体)(単位:頭)



犬の散歩時間(人口密度別)



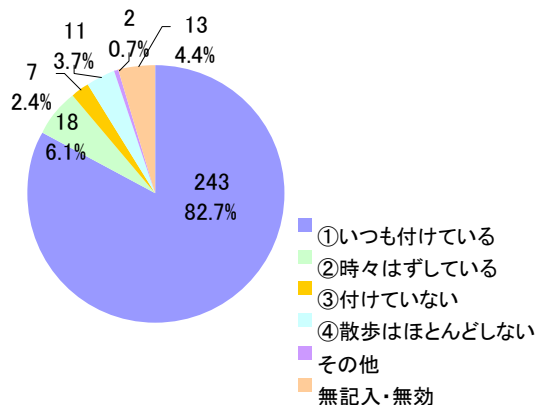


## ■リードはいつも使われていますか？

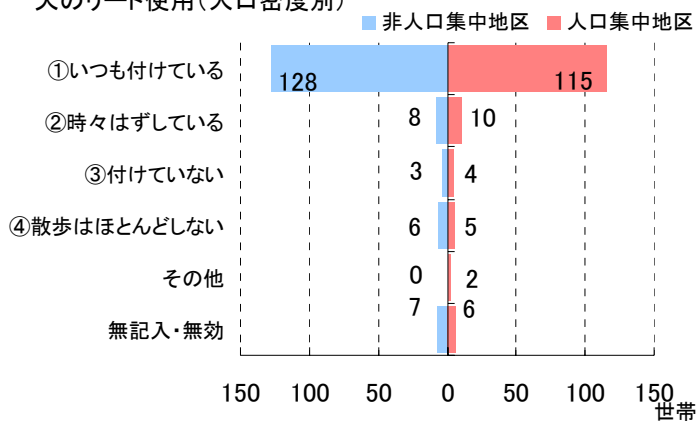
80%を超える世帯の犬がリードをつけている。つけていないのは、2.4%。

人口密度別による違いは見られなかった。

犬のリード使用(全体)(単位:世帯)



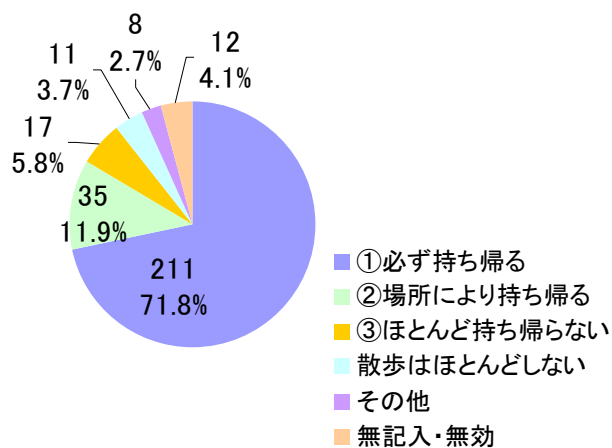
犬のリード使用(人口密度別)



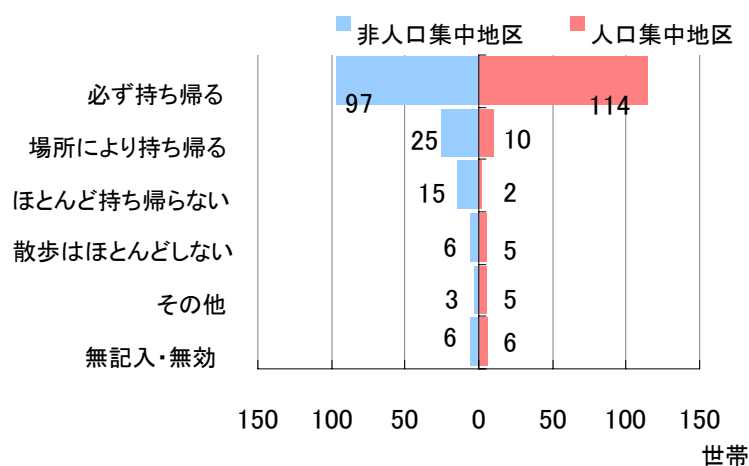
## ■糞は持ち帰りますか？

71.8%の人が必ず持ち帰ると回答している。非人口集中地区では、場所により持ち帰る、ほとんど持ち帰らないという回答が若干多くなる。

犬の糞の持ち帰り(全体)(単位:世帯)



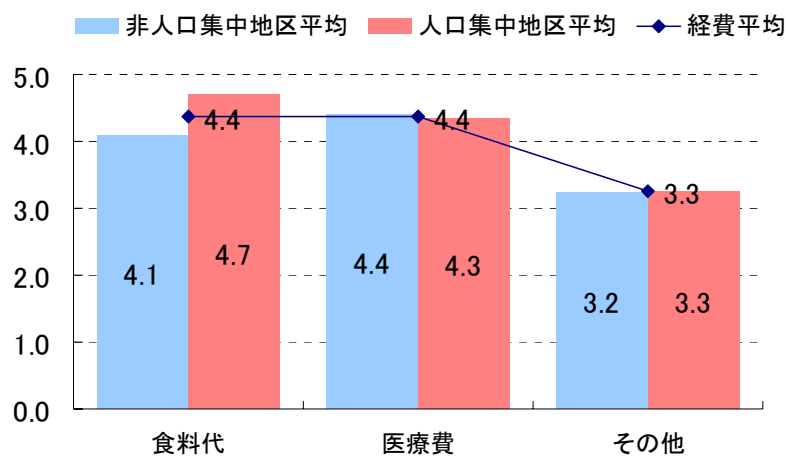
犬の糞の持ち帰り(人口密度別)



#### (14) エサ代や医療費などは、1年間にどのくらいかかりますか？

1世帯当たりの経費は年間12万円程度である。猫よりやや高い。食料代が人口集中地区でやや高いが、医療費も同程度かかっている。その他は、おもちゃ代やトリミング代などである。

#### 犬の飼育経費(万円)



## 2.3 猫の飼養実態調査結果

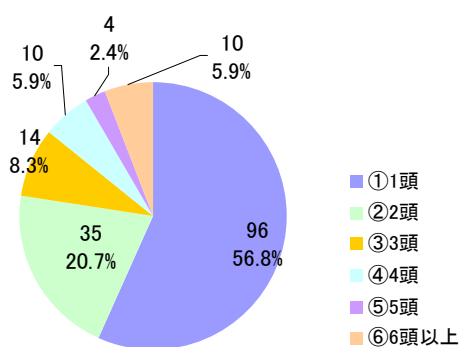
以下は、猫を飼育していると回答した方のアンケート集計解析結果である。

### (1) 飼っている猫は何頭ですか？

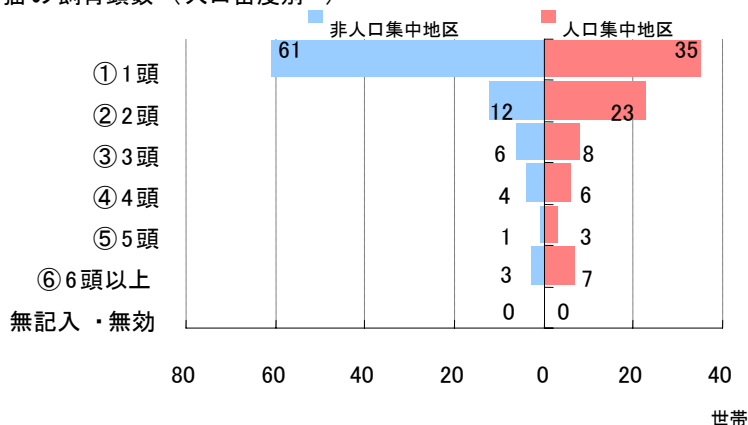
犬と比較して多頭飼いの世帯が多く、40%を越える世帯で2頭以上の猫を飼っている。この傾向は人口集中地区ほど明瞭で、都市化が進行すると今後この傾向はさらに強まると思われる。

6頭以上の多頭飼いの回答率は5.9%だが、多頭飼いの傾向は犬に比較して明瞭である。地域別に見ると南部では猫を6頭以上飼育している世帯の頭数割合が32.4%にもなる。

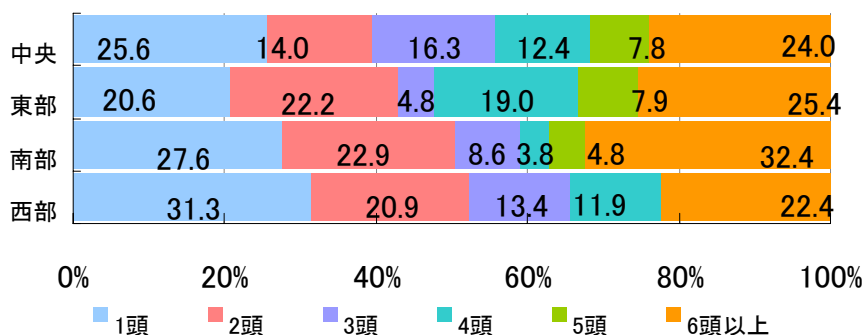
猫の飼育頭数(全体)(単位:世帯)



猫の飼育頭数(人口密度別)



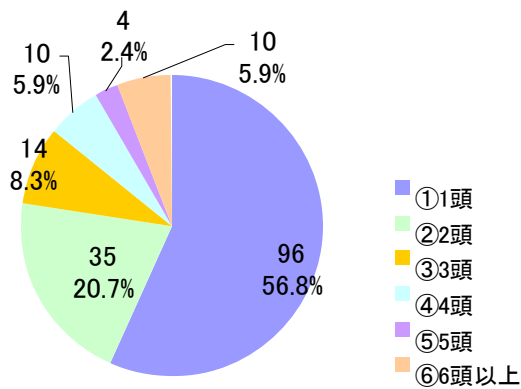
居住地区別「飼っている猫は何頭か(Q26)」



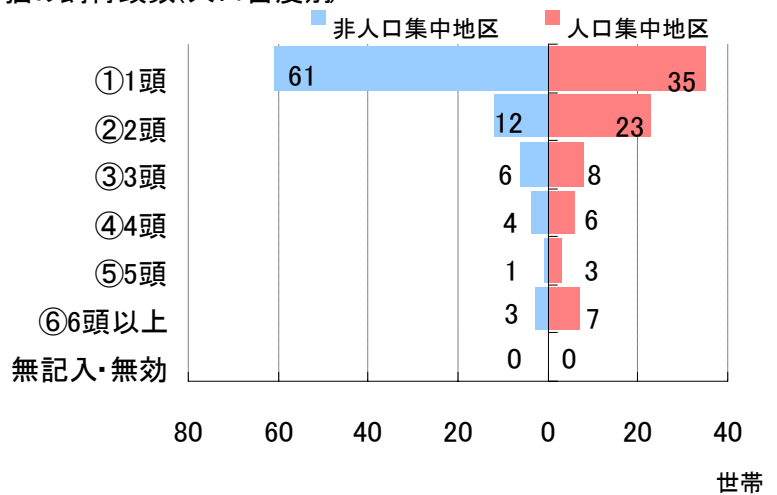
### (猫の飼育と住居形態)

多頭飼いと住居形態の関係を見ると、一戸建て住宅では約 75%の世帯が多頭飼いであるのに対して、集合住宅では 60%であり、一戸建て住宅の方が 15%高い。しかし、双方の住居形態においても半数以上が多頭飼いであり、複数の猫を飼育する傾向がある。ただし、5 頭以上の多頭飼いの率は、一戸建て住宅で約 30%あるのに対して集合住宅では見られない。

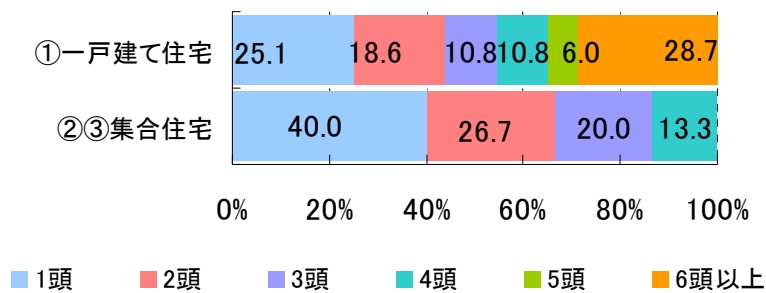
猫の飼育頭数(全体)(単位;世帯)



猫の飼育頭数(人口密度別)



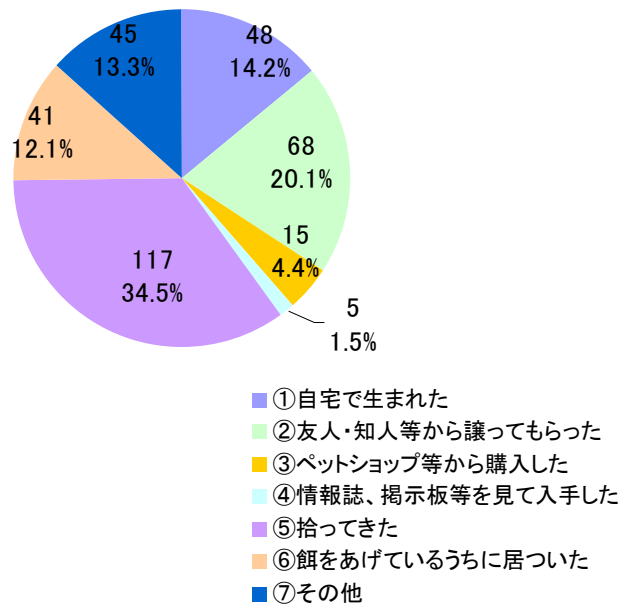
住居形態別「飼っている猫は何頭か(Q26)」



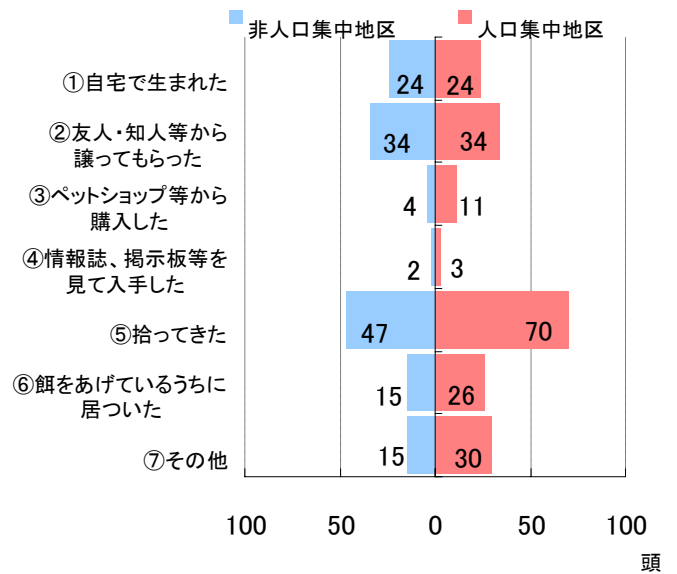
## (2) 現在飼っている猫は、どのような方法で入手しましたか？

拾ってきたという回答の世帯の比率は約 35%である。また、餌をあげているうちに居着いたという回答が約 12%見られた。一方、購入した頭数の比率は 4.4%であり、犬と比較して極めて少ないことがわかった。

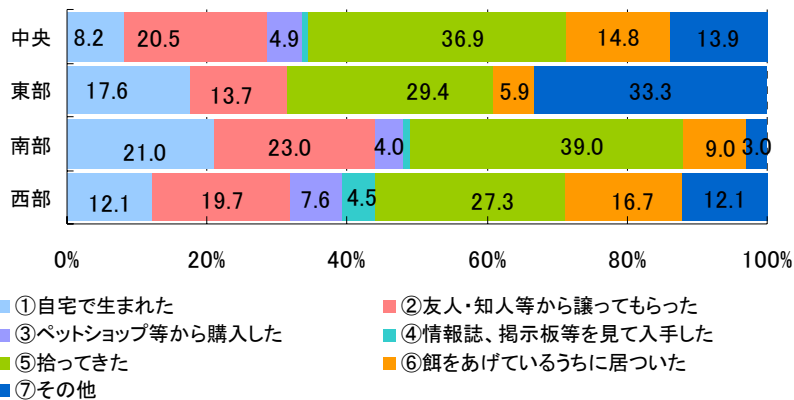
猫の入手経路(頭数)(全体)(単位:頭)



猫の入手経路頭数(人口密度別)



居住地区別「猫の入手方法は(Q27)」

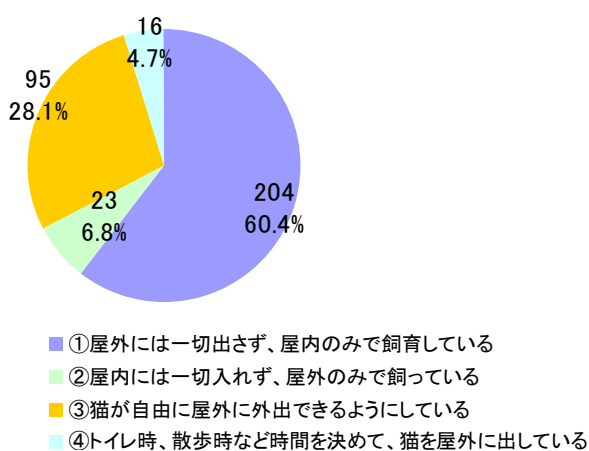


### (3) あなたは、どのように猫を飼っていますか？

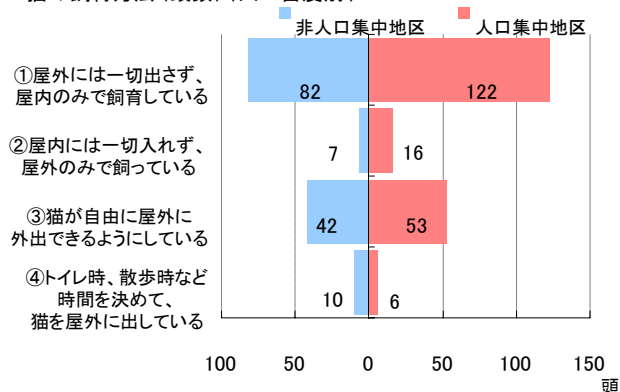
60.4%の猫が屋外には一切出さず、屋内のみで飼育されている。猫が自由に屋外に外出できるようにしているのは約30%である。前者が後者を2倍上回っており、その傾向は人口集中地区ほど明らかである。都市化がより進んでいる西部において、屋内には一切入れず、屋外のみで飼っているが19.7%と他地域よりかなり高い数値を示した。

住居形態から見ると、集合住宅では92.6%が屋内飼育であり、一戸建てとは飼育方法の傾向が異なっている。

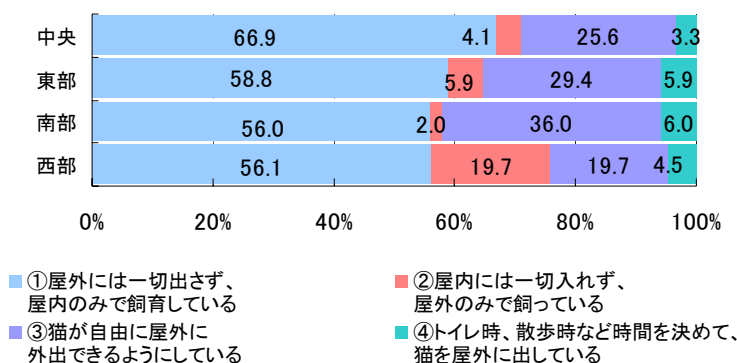
猫の飼育方法(頭数)(全体)(単位:頭)



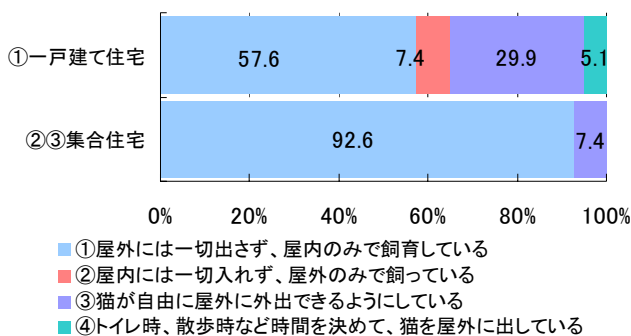
猫の飼育方法(頭数)(人口密度別)



居住地区別「猫の飼育方法Q28」



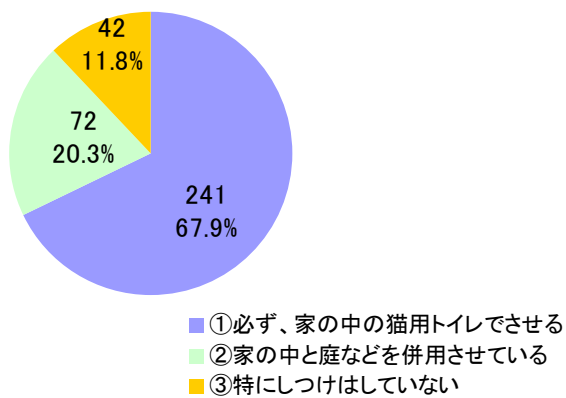
住居形態別「猫の飼育方法(Q28)」



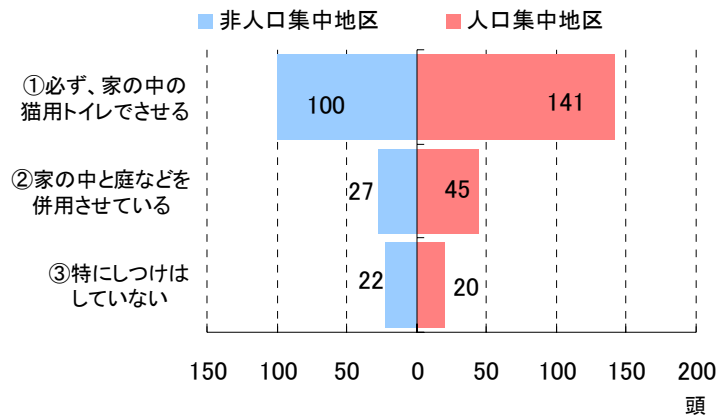
#### (4) 猫の「トイレ」のしつけは、どのようにしていますか？

約70%が必ず家の中の猫用トイレでさせることをしつけている。非人口集中地区の猫でも、6割以上の猫がトイレのしつけを受けている。郊外でも猫の糞尿害に対する意識が高まっていると考えられる。

猫のトイレ(頭数)(全体)(単位:頭)



猫のトイレ(頭数)(人口密度別)

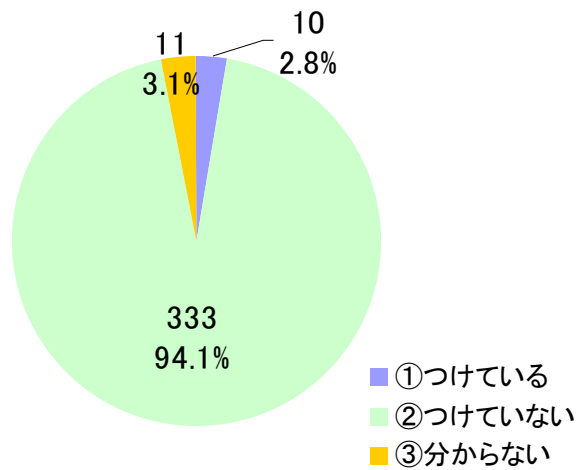




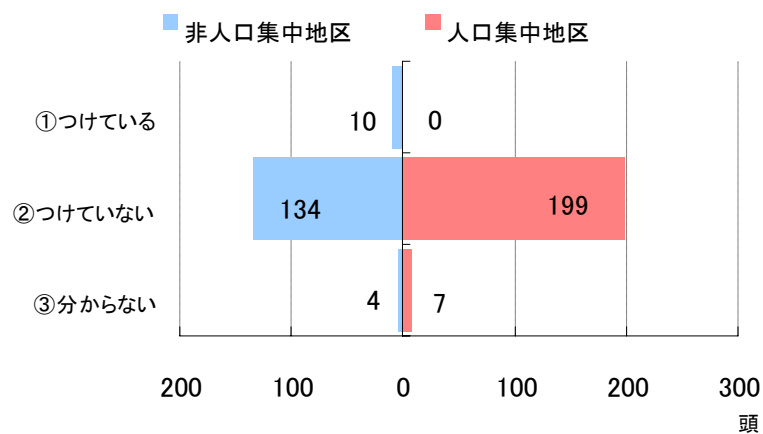
**(5) 飼っている猫に、マイクロチップ（個体識別のための電子識別チップ）をつけていますか？**

個体を認識するためのマイクロチップを装着している猫は2.8%であり、全てが非人口集中地域の猫である。

猫のマイクロチップ(頭数)(全体)(単位:頭)



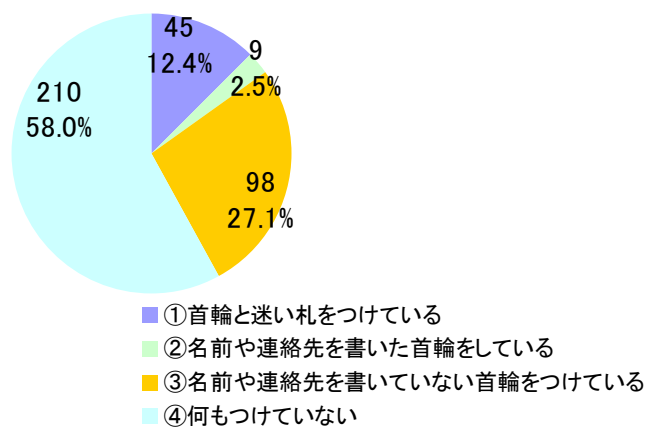
猫のマイクロチップ頭数(人口密度別)



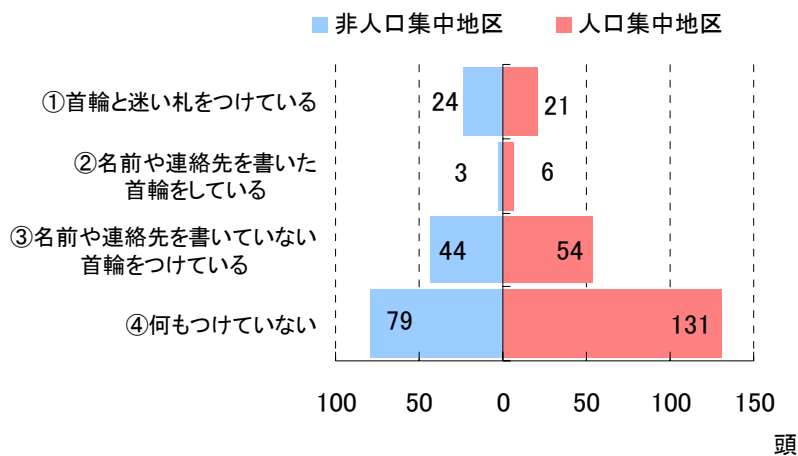
### (6) 飼っている猫に、首輪や迷い札などをつけていますか？

首輪を付けていない猫は 58.0%。たとえ付けていても迷い札をつけている猫や名前や連絡先が書かれている猫は約 15%であり、行方不明になった場合に検索が困難と考えられる。また、人口集中地区では屋内のみで飼育されている猫が多いためか、首輪を付けている比率が低い。

猫の首輪(頭数)(全体)(単位:頭)



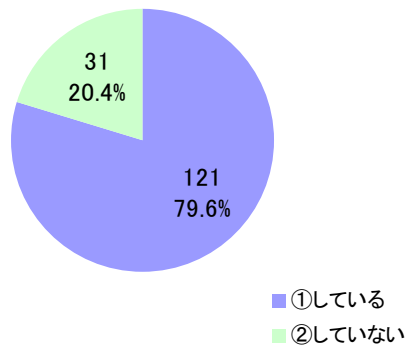
猫の首輪(頭数)(人口密度別)



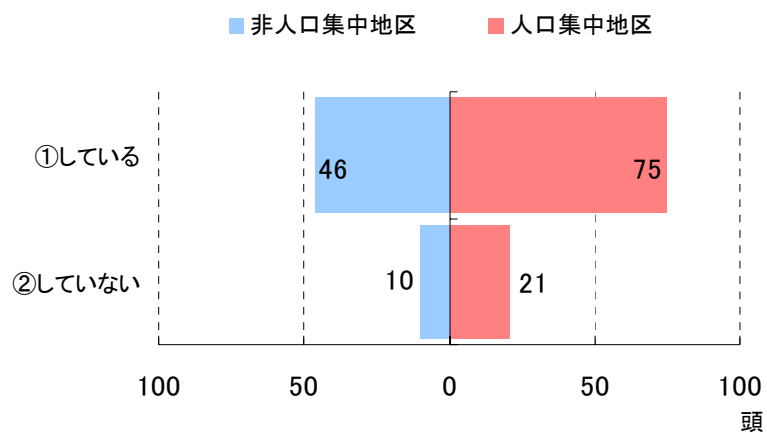
### (7) 飼っている猫に不妊去勢手術をしていますか？

オス猫の去勢手術は79.6%の高い率で行われている。特に人口集中地区での割合が高い。これは所有者が、猫が外出した場合に他の猫と接触することで、むやみに喧嘩をすることや交尾することを防ぐためと考えられる。

猫のオス去勢(頭数)(全体)  
(単位:頭)

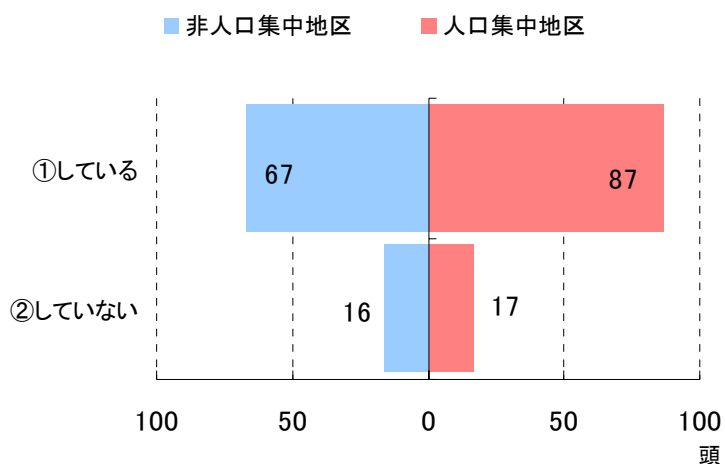


猫のオス去勢(頭数)(人口密度別)

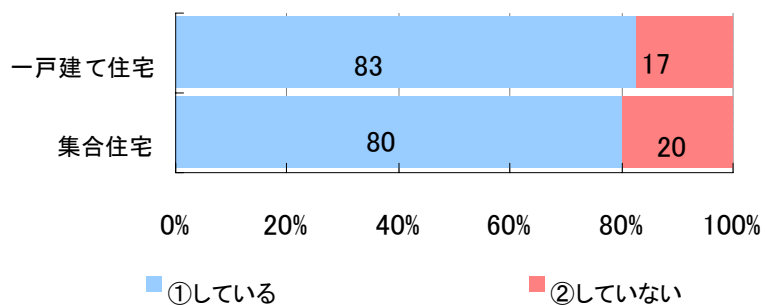


オスと同様に、メス猫が避妊手術を受けている率も約 82% と高い。この傾向は  
 一戸建て住宅と集合住宅とを比較しても 80% 以上でありあまり変わりはない。

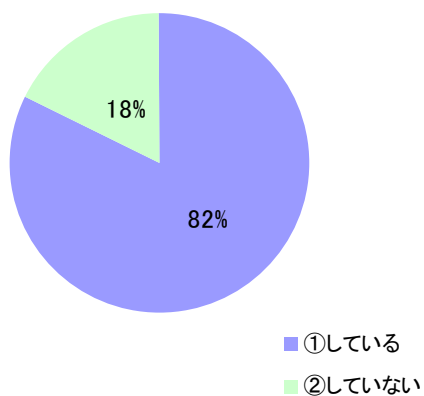
猫のメス不妊(頭数)(人口密度別)



住居形態別「不妊手術をしているか(Q32-2)」



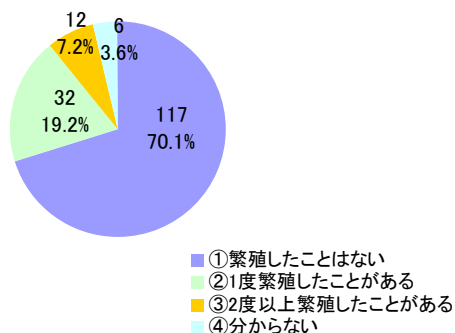
猫のメス不妊(頭数)(全体)(単位:頭)



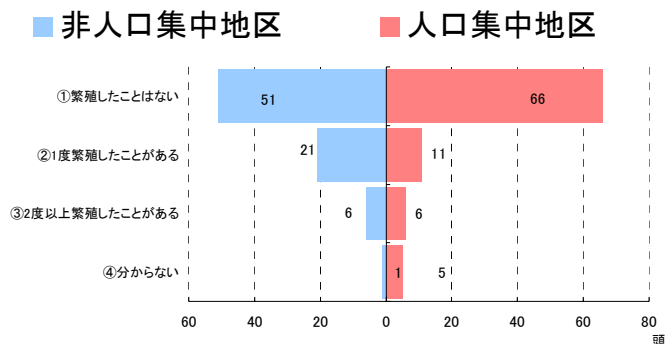
**(8) メス猫をお飼いの方に、繁殖の有無についておうかがいします。**

猫の繁殖は70.1%で行われていない。一戸建て住宅と集合住宅で比較しても、その割合は変わらない。しかし、2回以上の繁殖は集合住宅では無かったの対し、一戸建てでは7.8%あった。また集合住宅では自分の家の猫が繁殖したかどうか分からないという回答が15.4%と高かった。

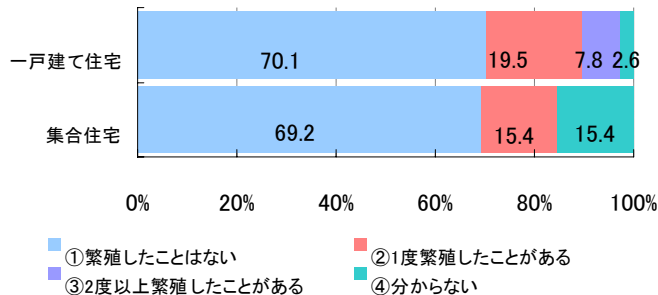
猫の繁殖(頭数)(全体)  
(単位:頭)



猫の繁殖(頭数)(人口密度別)



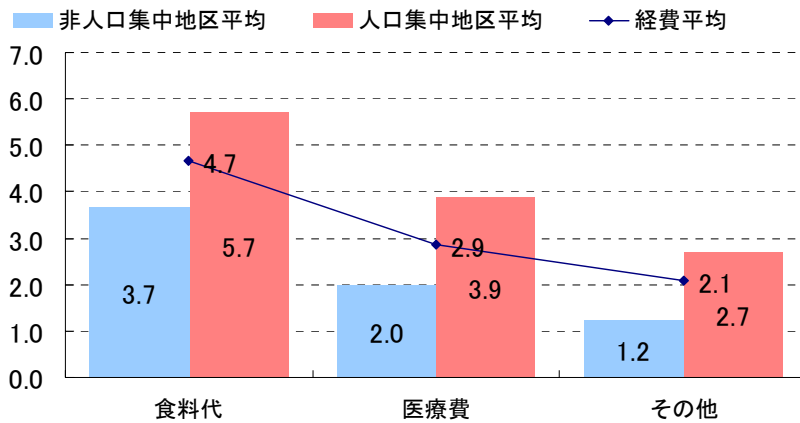
住居形態別「繁殖の有無(Q33)」



### (9) エサ代や医療費などは、1年間にどのくらいかかりますか？

一世帯当たり年間 9.7 万円の飼育経費がかかっている。犬と比較すると多頭飼いの世帯が多いため、食料費が犬より多くかかっている。医療費、おもちゃ代などのその他の経費は犬と比較すると少ない。人口密度の違いは明瞭で人口集中地区ほど高い飼育経費をかけており、非人口集中地域では 6.9 万円であるのに対し、人口集中地区はその 2 倍近く高い 12.3 万円である。猫は犬と比較すると都市型飼育動物として定着しつつあるといえる。

猫の飼育経費(万円)



### 3. 猫の個体数推定のための現地調査結果

屋外に生息している猫の個体数を推定するためには、単位面積あたりの個体数密度による推定方法と元来飼養動物であることから、人口との関係を推定する方法の二通りが考えられる。千葉県の場合は、東地域、南地域と中央地域、西地域の対象とする面積規模が調査地区により異なるため、単位面積当たりの比率を原単位とするには、サンプル数が相当数必要であると考えられることから、人口を原単位として飼養猫頭数を推定する方法がよりの確である。

そのため現地調査箇所を、県内の各地域にできる限り均一に配置し、県内全体の平均的な屋外猫の生息状況を調査した。その結果を基に飼養猫に対する屋外猫頭数、飼い主のいない屋外猫（いわゆる野良猫）頭数の係数を求め、その比率から屋外猫頭数と飼い主のいない猫頭数を推定した。

現地調査では、個体別に首輪の装着状況、成幼猫区分、行動パターンの観察結果を記録した。

その結果、146頭の確認ができ、そのうち111頭は首輪の装着の確認ができた。屋外猫の首輪装着率は、23.4%で、人口集中地区ほど低いことが分った。

また、成幼区分の結果は、17.6%が幼猫で、人口集中地区の幼猫率が2倍ほど高く、今後さらに屋外猫が増える可能性が高い。

表 現地調査により発見した屋外猫の首輪装着状況

首輪の装着状況	地区（頭数）		
	①非人口集中地区	②人口集中地区	計
①有り	8	18	26
②無し	14	71	85
計	22	89	111
首輪の装着状況	地区（%）		
	①非人口集中地区	②人口集中地区	計
①有り	36.4%	20.2%	23.4%
②無し	63.6%	79.8%	76.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%

※ 装着状況が不明の猫を除いた頭数及び構成比

表 現地調査により発見した屋外猫の成幼区分状況

成幼区分	地区		
	①非人口集中地区	②人口集中地区	計
①成猫	88.9%	79.4%	82.4%
②幼猫	11.1%	20.6%	17.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%

写真 現地調査時に首輪の装着状況や成幼猫の区分を行なっているところ





## 2章 考察

### 1. アンケート結果から見る飼養動物の飼育実態

- ・ 千葉県では、犬は20.1%の世帯で飼養し、1世帯あたり平均頭数は1.28頭である。猫は犬に比較し少ない比率で、11.5%の世帯で飼養しているが、1世帯あたりの飼養頭数は平均2.15頭と多い。
- ・ 平成17年度の国勢調査住宅形態別世帯数から推定した千葉県の犬の飼養頭数は、45万頭である。住宅形態別に1戸建ての飼育頭数が多く40万頭を占める。猫の飼養頭数は、47万頭と推計された。また飼い主のいない屋外猫（野良猫）は17万頭と推計された。総数は64万頭である。
- ・ 地域差をみると、猫の飼育状況が東、南地域と中央、西地域で異なる形態が多く見られた。都市化による影響は猫の飼養に顕著に現れると思われ、人口集中地区では、屋内飼いで多頭飼いが進みつつある。
- ・ 飼養費用にも地域性と住宅形態による違いが見られ、猫の飼育が犬の飼育と比較し顕著な違いとなって現れている。

### 2. 犬の総個体数の推計

犬は、飼育されている犬の頭数を総個体数として推計した。今回のアンケート調査では野良犬の目撃も報告されているが、総頭数は少ないと想定され、飼育されている犬の頭数を推計することで総数が概ね把握できると考えた。

頭数推計は、国勢調査の住宅形態別戸数とアンケート結果から作成した住宅形態別飼育頭数比率と1軒あたり飼育頭数を原単位として算出した。

推定式は下式によった。

$$\text{地域別飼育犬推定頭数} = \text{地域別住宅形態別戸数} * \text{飼育軒数比率} * \text{1軒あたり飼育頭数}$$

この方法により求めた千葉県内の犬の総数は下表のように約45万頭となった。

表 犬の飼育頭数の推計（住居形態別）

項目	一戸建て	集合住宅 (その他：寺院など)
世帯数統計(世帯)*	1,267,930	981,333 (2,512)
飼育軒数比率	24.5%	5.1% (20.0)
1軒あたり飼育頭数 (頭)	1.29	1.06 (1.00)
推定個体数	40万頭	5万頭

\*国勢調査の世帯数統計は平成17年度調査結果。

飼育されている犬の推計に用いた、原単位は以下のようなアンケート結果の数値を基に算出した。

**表 住居形態別 1 軒あたり平均飼育頭数**

住居形態	頭数／軒							合計 頭数	1 軒あたり 平均飼育頭数
	1 頭	2 頭	3 頭	4 頭	5 頭	6 頭	軒数 計		
1 戸建て	221	39	8	7	0	1	276	357	<b>1.29</b>
集合住宅	16	1	0	0	0	0	17	18	<b>1.06</b>
その他	1	0	0	0	0	0	1	1	<b>1.00</b>
合計	238	40	8	7	0	1	294	376	<b>1.28</b>

### 3. 猫の総個体数の推計

猫の総個体数は、飼育猫と飼育されていない屋外猫（野良猫）の総数とした。飼育猫の頭数は、犬の総個体数の推計と同じようにアンケート結果と国勢調査の住宅形態別の原単位から算出した。

飼育されていない屋外猫の頭数は、現地調査により観察された首輪の装着率をもとに首輪をしていない猫を飼育されていない猫と仮定し、首輪をしている猫との比率から推定した。実際には飼育されていない屋外猫でも首輪をしている猫がいる場合には、推定した頭数より少ない数値になる。

このような方法により求めた千葉県内の猫の総数は下表のように総数約 64 万頭となり、そのうち 47 万頭は飼育されている猫である。飼育されていない屋外猫は 17 万頭と推定された。屋内だけで飼育している猫の頭数は 30 万頭、屋内外で飼育している飼育猫は 14 万頭、屋外のみ飼育猫は 3 万頭と推定された。

**表 千葉県の猫頭数の推定結果**

飼育猫	飼育されていない 屋外猫	総頭数
465,055	174,757	639,812

推計方法の詳細は以下のように、アンケートと国勢調査結果から求めた飼育頭数と現地調査による首輪装着率から推定した飼育されていない屋外猫の頭数推計を合わせて県内全体の猫の頭数の推計を行なった。

飼育頭数の推計は、国勢調査の住宅形態別戸数とアンケート結果から作成した住宅形態別飼育頭数比率と1軒あたり飼育頭数を原単位として算出した。

推定式は犬と同様に下式によった。

$$\text{地域別飼育猫推定頭数} = \text{地域別住宅形態別戸数} * \text{飼育軒数比率} * \text{1軒あたり飼育頭数}$$

この方法により求めた千葉県内の猫の総数は下表のように約47万頭となった。

**表 猫の飼育頭数の推計(住居形態別)**

項目	一戸建て	集合住宅
		(その他：寺院など)
世帯数統計(世帯)*	1,267,930	981,333 (2,512)
飼育軒数比率	13.3%	5.7% (11.5)
1軒あたり飼育頭数 (頭)	2.23	1.58 (2.15)
推定個体数	38万頭	9万頭

\*国勢調査の世帯数統計は平成20年度調査結果。

飼育猫の原単位の算定は、アンケート結果から以下のように行なった。まず住宅形態別に飼育軒数比率を求めた。1戸建てでは13.3%の世帯で猫を飼育しているのに対し、集合住宅では5.7%と低い数値となっている。

**表 住宅形態別飼育軒数比率の算出**

住居形態	猫飼育軒数(軒)			飼育軒数 比率
	飼っている	飼っていない	計	
1戸建て	150	976	1,126	<b>13.3%</b>
集合住宅	19	316	335	<b>5.7%</b>
その他*	0	5	5	<b>0.0%</b>
合計	169	1,297	1,466	<b>11.5%</b>

\*その他の係数は11.5を採用)

次に1軒あたりの平均飼育頭数をアンケート結果から求めた。

猫では多頭飼いの家があり、相当数に占める多頭飼いの頭数割合が高い。1戸建て住宅では平均1軒当たり2.23頭と多い数値となった。

**表 住居形態別1軒あたり平均飼育頭数**

住居形態	頭数／軒							合計頭数	1軒あたり平均飼育頭数
	1頭	2頭	3頭	4頭	5頭	6頭以上	軒数計		
1戸建て	84	31	12	9	4	10	150	334	2.23
集合住宅	12	4	2	1	0	0	19	30	1.58
その他*	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
合計	96	35	14	10	4	10	169	364	2.15

\*その他の係数は平均値の2.15を採用

また、飼育形態別に推計を行なうと以下のようになり、35%の猫が屋外で飼育されている。

**表 猫の飼育頭数の推計（飼育形態別）**

住宅形態	割合（％）			推定頭数		
	屋内飼育	屋外飼育 (内外)	屋外飼育 (外のみ)	屋内飼育	屋外飼育 (内外)	屋外飼育 (外のみ)
一戸建て	57.6%	35.0%	7.4%	216,608	131,619	27,828
集合住宅	92.6%	7.4%	0.0%	82,414	6,586	0
県全域	64.3%	29.7%	6.0%	299,022	138,205	27,828

飼育されていない屋外猫（いわゆる野良猫）の頭数は、現地調査結果により求めた首輪の装着率から手順で推計した。飼育されていない屋外猫の頭数は、屋外猫の総数から首輪をしていない飼育されている屋外猫の頭数を引いた猫の頭数と定義した。首輪をしている飼育されていない屋外猫も存在するために実際には推定された頭数は多めに積算されている。

①屋外飼育されている飼育猫のうち首輪をつけている猫の頭数

$$\text{飼育猫頭数 (465,055 頭)} \times \text{首輪装着の屋外飼育猫 (18.2\%)} = 84,640$$

②飼育猫のうち屋外飼育で首輪していない猫の頭数

$$\text{飼育猫頭数 (465,055 頭)} \times \text{首輪なしの屋外飼育猫 (22.0\%)} = 102,312$$

③屋外猫で首輪をしていない猫の頭数

$$\begin{aligned} & \text{①} \div \text{首輪装着の屋外猫 (23.4\%)} \times \text{首輪を装着していない屋外猫 (76.6\%)} \\ & = 277,069 \end{aligned}$$

④飼育されていない屋外猫の頭数

$$\text{③} - \text{②} = 277,069 - 102,312 = 174,757$$

アンケート結果による飼育状況と首輪装着状況、現地調査で観察された屋外猫の首輪装着状況は以下ようになる。

**表 アンケート結果による飼育状況と首輪の装着状況**

項目	屋内飼育	屋外飼育	計
首輪装着	25.4%	18.2%	43.6%
何もない	34.4%	22.0%	56.4%
合計	59.8%	40.2%	100.0%

**表 現地調査により観察された屋外猫の首輪装着状況**

首輪の装着状況	計
有り	23.4%
無し	76.6%
計	100.0%

\*首輪の装着状況の不明 (n=35) を除く比率